

宮崎県拠点のWebサイトはこちらから



宮崎県拠点だより

農作業中の熱中症を 予防しましょう！！

毎年、約30名の方が農作業中の熱中症により亡くられており、死亡事故の約85%は、7～8月に発生しています。作業前の少しの心がけや、手軽なアイテムの活用などで熱中症を予防し、農作業中の事故を減らしましょう。



予防のポイント

暑さを避ける

高温時の作業は極力避け、日陰や風通しのよい場所で作業

熱中症対策アイテムの活用

帽子や吸湿速乾性の衣服の着用、空調服や送風機の活用

単独作業は避ける

複数名で作業を行う、時間を決めて連絡をとり合う

こまめな休憩と水分補給

喉の渇きを感じる前に、こまめに水分・塩分を補給

農作業中の熱中症による死亡者数（月別）



初開催

国内肥料資源利用拡大

アワード



本アワードでは、海外からの輸入原料に依存した肥料から、堆肥や下水汚泥資源等の国内資源を活用した肥料へ積極的に転換を図る取組や地域で効率的に資源循環を推進する取組をおこなっている肥料原料供給事業者、肥料製造事業者、肥料利用者を表彰いたします。

◆応募期間 7月12日～8月23日
(表彰は令和7年1月の予定です。)

◆詳しくは、一般社団法人有機資源協会のホームページをご覧ください。





本年4月に当宮崎県拠点に着任した菊池地方参事官は、今後の施策に役立てるため、県内各地を訪問し、生産者や事業者と意見交換を行っています。

7月17日は、JAみやざきはまゆう地区本部「令和6年産早期米初検査・出発式」に出席し、全量1等に格付けされた2.8tの新米の発送を、万歳三唱で見送りました。

7月23日は、日南市の歌津農園(花き生産農家)から生産現場の現状などをお聞きするとともに、農業基本法改正、みどりの食料システム戦略、環境負荷低減のクロスコンプライアンスなどの説明を行いました。



7.17 JAみやざきはまゆう地区本部「令和6年産早期米初検査・出発式」

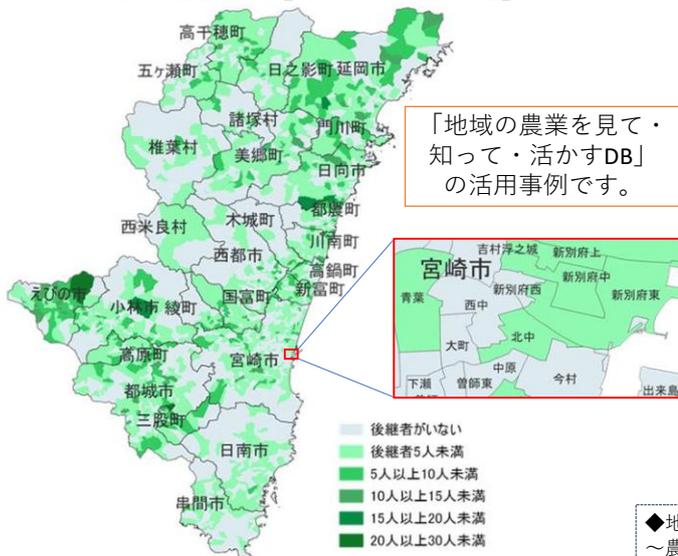


7.23 日南市の花き農家歌津さんと意見交換

データに見る宮崎の農業！



・5年以内に農業を引き継ぐ後継者がいる農業集落の農業経営体数【2020年2月1日現在】



「地域の農業を見て・知って・活かすDB」の活用事例です。

農林水産省では、農業集落を単位とする農林業センサスの結果や各種情報を組み合わせて加工・再編成したデータを「地域の農業を見て・知って・活かすDB」として提供しています。

国勢調査や行政情報と組み合わせながら地理情報システム(GIS)等を使い、地域の農業をグラフや地図で可視化したり分析することができます。

関心のある方は、お気軽に宮崎県拠点地方参事官室までお問い合わせください。

◆地域の農業を見て・知って・活かすDB
～農林業センサスを中心とした総合データベース～



●本紙の記載内容や農政についてのご質問、ご意見等お気軽にお問い合わせ下さい。

●宮崎県拠点 地方参事官室
TEL 0985-24-2365
〒880-0801 宮崎市老松2丁目3-17

編集後記

厳しい暑さが続いております。8月7日は立秋ですが、ニュースなどでは連日『熱中症警戒アラート』が発令されています。屋外で作業される方も当然ですが、屋内でも熱中症にはなるそうです。我慢せず、適切な冷房など心掛けてください。また、ゲリラ豪雨や落雷にも気を付けていただきたいと思いますね。(1)